

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成22年4月20日
環境創造局水再生施設管理課長
廣段 雄治 電話 671-3573
南部下水道センター長
高橋 義吉 電話 773-3096

包括的民間委託の更新入札を6月に公告！ (南部汚泥資源化センター)

南部汚泥資源化センターで導入している「包括的民間委託」を更新するため、6月に入札の公告を行います。また、合わせて現場の施設説明会を5月に実施します。

1 施設概要

南部汚泥資源化センターは、横浜市南部方面6か所の水再生センター(中部、南部、金沢、西部、栄一、栄二)から送られてくる汚泥を処理する施設で、汚泥処理能力は14,700m³/日です。

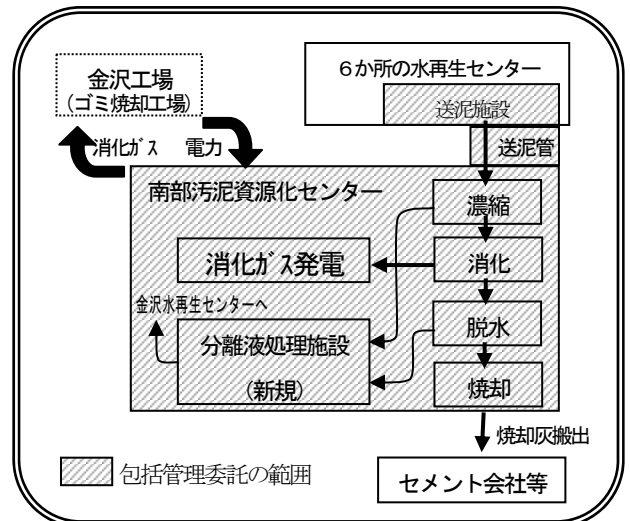
2 委託の概要

(1) 内容

- ア 運転管理業務委託 (分離液処理施設増)
- イ 送泥管保守点検業務委託
- ウ 薬品、油脂、材料及び備消耗品等の調達
- エ 軽微な修繕 (大規模なものは横浜市が対応)
- オ その他委託 (廃棄物の処分・運搬に関する業務を除く)

(2) 履行場所

金沢区幸浦1丁目9番地 南部汚泥資源化センター (ほか6か所の送泥施設)



3 現場説明会

期 間 平成22年5月10日(月) ～ 平成22年5月14日(金)

受付時間 9:00～15:00 (受付場所: 南部汚泥資源化センター管理棟2階事務室)
施設案内に約2時間を要しますので、事前に下記の担当までご連絡下さい。

045-774-0848 (包括見学担当まで)

(組織名称の変更のお知らせ)

平成22年4月1日より、南部汚泥資源化センターと隣接した金沢水再生センターを管理統合し、下記のとおり組織名称を変更しました。

南部下水道センター : (南部汚泥資源化センターと金沢水再生センターを管理統合)

北部下水道センター : (北部汚泥資源化センターと北部第二水再生センターを管理統合)

ただし、個別の施設名称としては今までとおりです。

4 履行期間

平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（5 年間）。

（契約は平成 22 年 12 月上旬に行い、平成 23 年 1 月から 3 月末までを引き継ぎ期間とします）

5 契約締結までの主なスケジュール(予定)

入札公告	6 月上旬
入札参加資格確認書提出期限	7 月上旬
入札（書類受付締切）	8 月上旬
ヒアリング	10 月上旬
落札者決定	11 月中旬
契約締結予定	12 月上旬
引継開始	平成 23 年 1 月から
委託業務開始	4 月から

6 業者選定方法

(1) 総合評価一般競争入札

価格だけでなく、技術提案に基づき総合的に評価し、受託者を決定します。

(2) 横浜市下水道事業包括的管理委託総合評価審査委員会

委員名	役職等
長岡 裕 (委員長)	東京都市大学 都市工学科教授
池田 陽子	明大昭平・法律事務所 弁護士
稲員 とよの	首都大学東京 大学院 都市環境学部教授
櫻井 克信	社団法人全国上下水道コンサルタント協会 専務理事
中村 博之	横浜国立大学経営学部会計・情報学科教授

(3) ヒアリングの実施

技術提案書の内容を補完し、入札参加者の提案内容を明瞭化するために、評価に先立ち、必要に応じてヒアリングを実施します。

7 その他

詳細については、横浜市環境創造局ホームページに、逐次、掲載して行きます。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyou/gesui/houkatsu/index.html>